

## 図柄入りナンバープレート等に関する検討会（第12回）

### 議事概要

1. 日時：令和8年3月17日（火）10：00～12：00
2. 場所：国土交通省第一会議室
3. 出席者：石田勝利委員、石田東生委員、岡安委員、北嶋委員、竹岡委員、寺井委員、  
吉田委員（50音順）
4. 議事概要
  - (1) 議事2 図柄ナンバープレート（地方版）導入要綱案について  
事務局から資料1-1及び資料1-2について説明し、要綱改定にあたり検討すべき課題の議論を行った結果、導入要綱案について座長一任とし、4月中を目途に公表することが了承された。
  - (2) 議事3 図柄ナンバープレート（ふるさと版）（仮称）の方向性について  
シートメーカー各社が全種類の図柄シートを製作することとした場合の課題の議論等を行った。
  - (3) 議事4 その他について  
事務局から資料2の説明を行った。また、資料3を説明し、図柄ナンバープレート（地方版）導入要綱を4月中を目途に改定すること、図柄ナンバープレート（ふるさと版）（仮称）及び希望番号取得者の新たな決定方法の方向性については継続して議論することが了承された。

（委員からの主な意見）

<議事2 図柄ナンバープレート（地方版）導入要綱案について>

- 資料1-1の23～24ページの図柄ナンバープレートの導入スケジュールについて、第5弾の交付開始と第6弾のご当地名の先行交付開始、第6弾の交付開始と第5弾の合意形成に時間を要する場合の交付開始がそれぞれ同時期であれば、供給者側としても同タイミングで準備ができると考える。
- 資料1-1の24ページの図柄ナンバープレートの導入スケジュールについて、線表最下段の新たな全国版（モノトーン基調）は、今後のフルカラー一本化の代替策とし

て大事であるため、デザイン案の募集開始時期を早め、地方版の第5弾の交付開始時期と合わせることでPR効果を高めることを検討してはどうか。運輸局や運輸支局を通じて自治体との連絡連携を綿密に行っていただきたい。

- 資料1-1の24ページの図柄ナンバープレートの導入スケジュールについて、令和9年11月のご当地名の先行交付時期は、国のMOTAS更改時期との関係で支障はないか。
- 資料1-1の8ページ(5)図柄の選定基準の(カ)について、自動車運転免許を持っていない方や寄付金が地域に幅広く活用されることが望ましいことを踏まえて、(ア)との並びをとって「地域住民及び自動車ユーザーに親しまれるデザインとなるよう」としてはどうか。
- 普及率を上げるためには資料1-1の21ページの導入地域における普及促進活動が重要である一方で、前提として図柄デザイン自体が地域住民や自動車ユーザーに親しまれ、受け入れられていることも重要であるため、それらをリンクさせた普及率向上の取組を考えていただきたい。
- 資料1-1の21ページのⅢ普及促進活動報告②について、国土交通省から導入地域に提供した普及率や申込件数のデータを機械的に記載するように読めるため、「国土交通省から情報提供する」を削除し、「当該地域における普及率及び申込件数の実績と関連付けた普及促進活動の成果及び効果の分析等を記載すること」としてはどうか。
- 普及促進活動にあたっては、今後の寄付ありフルカラーへの一本化に向けて、現行の地方版73種類毎の普及率のうち特にフルカラーの状況を国から各地域に示してはどうか。広く地域住民に図柄ナンバープレートが認知されることが望ましいが、普及率を上げていくためには、自動車の新規購入や買換え時などにピンポイントで自動車ユーザーに認知されるような普及促進活動を行うことが大切ではないか。デザイン面と普及促進活動の内容と普及率の関係について客観的なデータから導き出した傾向を元に国から各地域に普及促進活動の事例を情報提供してはどうか。

- 普及促進について、図柄デザインの観点からは、資料1-1の8ページ及び14ページの図柄の選定基準に「図柄の制作や選考の過程においてデザイナーを活用すること」を追加することで、現行の地方版73種類の図柄デザインをデザイナーの視点で見比べてどのような方向でデザインをすべきか検討することができるようになるため、これまで以上に普及することが期待できるのではないかと。
- 自動車の購入や買換え時などにピンポイントで自動車ユーザーに認知されるような普及促進活動に取り組む場合、新車ディーラーや中古車ディーラーの団体やオークション会場など購入経路に応じた働きかけを行ってはどうか。
- 地方版の普及率について、同一地域の全国版や特別仕様の図柄ナンバープレートの普及率と比較分析してみてもどうか。もし、全国版や特別仕様の普及率が地方版と同様の傾向である場合は、普及促進活動と関係がある可能性があるが、そうではない場合は、地方版の図柄固有の課題が大きい可能性があるのではないかと。
- 資料1-1の21ページのIV国土交通省による普及促進計画及び普及促進活動報告の取り扱い③について、効果的な普及促進の取組を行った地域の表彰が追加されているが、図柄ナンバープレートの普及促進に取り組まれた自動車ディーラー等の表彰についても検討してはどうか。

<議事3 図柄ナンバープレート（ふるさと版）（仮称）の方向性等について>

- 今後、シートメーカー各社が全種類の図柄シートの製作に対応できる可能性があれば、図柄ナンバープレート（ふるさと版）（仮称）の実現に向けて最小ロット数や納期、価格について、調整していくことができるのではないかと。標板メーカーからの注文時期についてもデイリーではなくある程度まとめた注文とするなど各シートメーカーの懸念を1つずつ解消していくことが必要ではないかと。

以上